

第3回再発防止対策検証委員会(8/21)でいただいたご意見について

主なご意見	当社の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・「フランクな対話」のアンケートで、<u>少数ではあるが、熱意が伝わらない、有意義と思わない参加者がいる。ネガティブな回答に注目しフォローしていく必要</u>がある。達成率 100%で終わるのではなく<u>継続的に実施していくべき</u>。 ・現場からの貴重な意見・要望に対し、<u>精神論で回答するだけではなく、実態に合わせたフォロー</u>をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、<u>アンケート結果を参考に、対話の進め方を見直して</u>おります。具体的には、「対話メンバー構成を<u>同職種・同年代の少人数グループとする</u>」、「対話時間を当初の 60 分から <u>90 分に延長する</u>」などの<u>改善を行いました</u>。また、「円卓を囲んで<u>経営トップと間近で話す形式とする</u>」など、<u>話しやすい雰囲気づくりの工夫</u>も行っております。 ・<u>現場の意見・要望は、その実態を十分把握</u>したうえで、<u>必要に応じて施策に反映</u>してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・課長が忙しいからといって <u>副課長に権限を再配分しても同じこと</u>ではないか。グループ制の導入、パソコン・メールを活用した情報共有化等、<u>迅速な対応に向けた変革が必要</u>。 ・日常から部下に <u>無意味な書類作りや作業をさせない等の社風</u>が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、ITの活用、業務効率化などに取組んでまいりましたが、今後も <u>仕事の進め方の見直し、更なる情報の共有化等</u>について <u>継続的に検討</u>してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・「応援体制の整備」は大切。<u>OBや関係会社も含めて幅広く応援人材リスト</u>を作成・更新した方がよい。原子力の経験者を評価していることにもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>OBについては、関係諸団体の対応等において貴重な知識・経験を活用していただくことを検討</u>してまいります。<u>関係会社には引き続き応援者リストへの登録および出向などにより協力</u>してもらいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「品質管理部」は監督や助言ではなく、<u>現場密着型であるべき</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理部は、<u>各部門の事例や情報を吸い上げ、全社に水平展開する役割</u>を担っております。 ・また、指導・助言するだけではなく、<u>現場と一緒に提言、改善、支援を行う、改善型考査</u>を心がけます。

主なご意見	当社の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・「品質」や「安全」は数字で見えるが、<u>数字で見えない「安心」</u>につなげるためには、<u>安全運転の実績、地元への理解活動、社員が一生懸命仕事に取り組む真摯な姿が見える</u>ことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>安心の実現は、安全が継続的に確保</u>されると同時に、地域の皆さまと安全確保に関わる<u>当社との間に信頼関係が築かれていることが前提</u>だと考えております。 ・当社は、再発防止対策の確実な実施と定着に努めることはもとより、<u>活動内容を地域の皆さまに判りやすくお知らせし、また、地域の皆さまの目から当社の安全最優先の取組みが見えるよう努力</u>してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・「失敗事例に学ぶ仕組みの構築」は前向きに取り組むべきだが、<u>細部を神経質につついて失敗事例を出させ、対応マニュアル・規則を増やすのは行き過ぎ</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗事例を言い出しやすい仕組みと風土の醸成に重心を置いた活動であり、<u>事例の登録などにノルマ・目標は課すことはありません</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・「技術教育・法令教育の実施」に加え、社内のやる気を鼓舞するためにも、<u>「原子力政策大綱」や「原子力立国計画」の教育</u>も大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部内・所内において<u>適切な機会を捉えて教育を実施</u>していくとともに、各種講演会を計画するにあたり、<u>「原子力政策大綱」や「原子力立国計画」に関するテーマを選定</u>いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況を社内外で認識してもらうためにも、<u>各対策の進捗状況をパーセンテージで示した方がよい</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回委員会以降、<u>全28項目の進捗率を報告</u>いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>トラブル時の住民への情報提供の充実を特に強化</u>してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、地域への迅速な<u>情報提供が非常に重要であると認識</u>しており、今後も、<u>速やかな地元説明、プレス発表に努め、皆さまの不安を招くことがない</u>ようにしてまいります。